



ALS

筋萎縮性側索硬化症(ALS)、脳と脊髄の神経細胞に影響を及ぼす神経疾患です。歩行、手を使うこと、会話、食事、そして最終的には呼吸することに、徐々に影響を及ぼします。話すことが困難になった場合、通常軽い言葉の乱れや話す速度の低下から始まります。そして、次第に重症化し、他の人が理解するのが難しくなり、最終的には全く機能しなくなります。ALSの患者さんの多くは動くことや話すことができなくなり、体の中に閉じ込められたような感覚に陥ることがありますが知的な障害はありません。

世界では年間約5万人に1人がALSを発症し、その多くは40歳から70歳の間に発症するといわれています。

詳細については、tobiidynavox.comをご覧ください。

ALSのためのコミュニケーション支援ソリューション

Tobii Dynamoxは、タッチ操作と視線入力で使用できるデバイスやソフトウェアを開発し提供しています。下記がALSの方に、特におすすめできる製品です。



TD I-Series

視線入力によりコミュニケーションやWindowsへのアクセスを可能にし、音声も発生する意思伝達装置です。

TD Snap, TD Control, TD Browse, TD Phone, TD Talk, Communicator 5, Gaze Viewer, Snap Scene.



TD Pilot

視線入力により操作してコミュニケーションやiPadOSへのアクセスを可能にし、音声も発生するiPadベースの意思伝達装置です。

TD Snap, TD Talk.



PCEye

Windowsパソコンに接続するだけで視線入力でのパソコン操作、ゲームをすることが可能となります。

Communicator 5, TD Control, TD Snap, Gaze Viewer.

Software



TD Talk

コミュニケーションに障がいのある方がタッチ、視線入力でも文字入力し読み上げることにより自然な会話が可能となるソフトウェアです。*



TD Phone

TDI-Series製品において視線入力でもショートメッセージ、電話が可能となるソフトウェアです。*



TD Control

TDI-SeriesやPCEyeの機器で、視線入力でもあなたのパソコン(Windows)を快適に操作できるようにするソフトウェアです。



Communicator 5

言語障がいのある方を対象に視線、スイッチ、タッチ入力でも意思疎通・会話コミュニケーションが可能となるソフトウェアです。



TD Snap

発話や会話に障がいのある方がシンボルや文字入力等の方法を使い、コミュニケーションを支援するソフトウェアです。



Gaze Viewer

視線のコントロール能力を追跡・記録する簡易評価ツールです。



TD Browse

TDI-Series製品において視線入力でも直感的Webの閲覧・検索を可能にしたソフトウェアです。